

# キラリ☆ 中野のチカラ

魅力あるまちづくり若者会議の皆さん



## 私たちが考え より魅力的な中野市に

魅力あるまちづくりのために、研修や交流、長期的な展望に立った事業の提案を行っている「魅力あるまちづくり若者会議」の皆さん。今回は、昨年7月から9回にわたって実施してきた魅力あるまちづくり若者会議の取り組みを紹介します。

### ○若者会議ではどんなことをしているの？

40代までのメンバーで構成され、中野市にある地域資源を生かして、より一層魅力あるまちにしていくなため、さまざまな企画・事業を提案し、行動することを目指しています。

平成26年度では、高校生を含めた15人のメンバーが、外部講師による講演会や首都圏大学生との交流をする中で「魅力あるまちづくりについて私が思うこと」を考え、その思いをもとに、①農業、②イベント関係、③市街地の活用、④人づくりと情報発信の4グループに分かれて3月23日に企画などを提案するプレゼン大会を行いました。

### ○私たちの提案する企画・事業

中野市の魅力を発信するために考えた、各グループの提案内容の一例は次のとおりです。

- ・観光を利用した農業体験で、収穫体験ではなく、種まきや袋がけなどの農作業を体験していただき、農産物を「食べたい！また行きたい！」と思っただけでなく、中野市へのリピーターを増やし産業の活性化につなげたい。
- ・ソーシャルキャピタル（人と人とのつながり）を作ることが効率的に情報を発信することにつながるのので、自分だけが知っている中野市の魅力を紹介する「まちたび」といったものを作り、魅力を発信し、地域愛を深めることにもつながっていききたい。

ほかにも、各グループのテーマに合わせて、さまざまなアイデアを発表しました。会議の詳細は、市公式ホームページでもご覧いただけます。

### ○中野市をより魅力的にしているために

今回のプレゼン大会では、来場者の方から改善点や激励を受けることができたほか、年齢に関係なく交流を広げてもらいたいというお話もあり、ネットワークを拡大していくことも大切であると教えていただきました。また、コーディネーターを務めた三枝康雄先生からも、アイデアを行動に移していく大切さを教えていただいたので、今後、メンバーが自分たちで考えたことを、アクションに変えていくことができる若者会議になっていければと思います。

中野市合併10周年記念

## 広報クイズ



### ■今月のプレゼント

中野市イメージソング「空みあげて（ミニアルバム）」：2人

### 問題

中野市は4月で合併何周年でしょうか？

「●●周年」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 4月24日(金)必着

※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え 北陸新幹線「はくたか」は飯山駅に上下各何本停車するでしょうか？ 答え・・・「12本」

383-8614

(住所記載不要)

中野市庶務課  
秘書広報係 行

住所・氏名・年齢・  
電話番号・世帯主

# 市民リレー元気の輪

No. 9

本田紀子さん  
からのご紹介



## ○自己紹介

およそ450年前の戦国時代から  
続くお寺の19代目の住職を26歳のと  
きに継ぎました。

地域の人たちに身近に感じてもら  
えるようなお寺を目指し、本堂を開  
放して歌声喫茶のコンサートや写真  
展、着付け教室などのイベントを定  
期的に開催しています。

また、お寺の前に小さな公園を作  
り、遊具を少しずつ整備しています。  
暖かくなり、孫を連れたいおじい  
ちゃんや、子ども連れのお母さんが  
遊びに来てくれるようになり、世間  
話をするのが楽しみの一つになっ  
ています。

ギターが趣味で、昔からの仲間た  
ちと15年くらい前にバンドを結成

し、毎週練習  
をしています。

メンバーは  
ボーカル、ギ  
ター、サック  
スなど6人で、  
私を含めて2  
人が住職です。



▲晋平忌で演奏する  
竹前さん(右端)

たぐさんの  
人に音楽を楽しんでもらおうと、デ  
イサービスのクリスマス会や記念  
祭、村のお祭りなどで演奏を披露を  
しています。

## ○元気の秘訣

バンド活動のほかにも、仲間と糸  
魚川までホタルイカを捕りに行っ  
たり、孫を連れて斑尾山へゴゴミやウ  
ドなどの山菜を採りに行ったりし  
て、アウトドアの趣味も楽しんでお  
り、自然と触れ合ってエネルギーを  
もらっています。

## ○おらほの自慢

お寺から見える雄大な高社山は、  
木々の葉の色付きによって季節の移  
ろいを感じさせてくれます。  
愛知や東京で暮らしたこともあり  
ますが、中野市は山に囲まれて自然  
が豊かで災害も少なく、本当に住み  
やすいまちだと思います。

# 池田市長の

# わくわくレポート

vol. 20



## 新「中野市」10周年の誓い

3月14日北陸新幹線が開業した。  
開業前に金沢まで試乗の機会を得た  
が、開業後に新幹線を利用してみる  
と、更に強く変化の風を感じた。開  
業直後とはいえ、長野駅隣接のパ  
ーキングの満車の表示が目立ち、観光  
客や行き交う人も確実に増えている  
と感ずる。

私を含めこの地域に住まう人々の  
行動範囲や生活圏域も確実に広がっ  
ている。東京圏、関西圏といった巨  
大マーケットとの時間距離が短縮  
し、まさに直結するなかで、これか  
らの地域環境は変化変容が激しくな  
ることが予想され、新しい地域づく  
りが求められると思う。

よく、経営(商売)の基本として「3  
つの不」の解消が要と云われるが、  
「不便」「不満」「不安」の解消はサ  
ービス業として自治体経営にも相通じ  
るものがある。中野市を知っていた  
だけ、興味関心をもっていただけで  
めには、私たちが地域で暮らすなか  
で、私たち自身が、この「3つの不」  
を解消することが、実は域外からの  
人の流れを呼び込むことになるので  
はと思う。

人口が集中するところには多くの  
アイデアやノウハウが競い合い渦巻  
いている。そうした都市圏や他地域  
に暮らす人に中野市を訪ねていただ  
き、ふれ合うことは、私たちに新た  
な知恵や力をもたらしてくれるに違  
いない。例えば「観光」といった切  
り口でみると、多様なニーズを知る  
ことができ、また、アイデアやノウ  
ハウを得ることができると思う。

市では、4月からこれまでの経済  
部「商工観光課」を「営業推進課」  
に改組した。売れる農業推進室に加  
えて、商業・工業の分野でも、待ち  
受けではなく、まちづくりや移住交  
流を含め必要な情報を集約し「中野  
市を売り込む」ことに注力するため  
の組織とした。

また、交流・連携・協働の精神は、  
市民課に「市民協働推進室」を設け、  
皆さんと共によりよいコミュニテイ  
づくりに取り組むこととした。  
新「中野市」が発足し10周年を迎  
えた。皆さんの協力のもと、各種記  
念行事を考えている。市制10周年を  
皆さんと共に祝い、将来に向けての  
夢・希望を膨らませ、その実現に向  
けて起動する年にしたいと強く思う  
次第である。



竹前 民雄 さん (吉田)